



各務原市議会  
市民派・チームみらい  
**杉山 元則**

事務所: 蘇原緑町 4-15  
電話 090-7678-7869  
FAX 058-382-3980  
Mail: kizuna@true.ocn.ne.jp

**水道水から健康被害の恐れがある  
有機フッ素化合物(PFAS)が目標値を超えて  
検出されたことが明らかに**

- ▶**令和2年11月** 三井水源地で目標値の2倍のPFASが検出されました。しかしこの情報は水道部内の共有に留まりました。
- ▶**令和3年5月** 三井水源地No8井戸で目標値の10倍のPFASが検出され、水道部内の判断でその井戸からの取水を停止。
- ▶**令和4年4月** 市長、副市長に水源地でPFAS超過の事実が報告されましたが、市長はこの事実を公表する決断に至らず。
- ▶**令和5年7月** 岐阜県の行政指導でPFAS超過の事実を公表。

【一般質問の内容】

- ① **目標値超えのPFAS検出について県や国に適切に報告したか**  
▶答弁. 令和2年11月以降の検査結果は、県の指導に基づき令和5年7月24日に報告しました。  
県への報告と、市民の皆様には速やかに公表すべきでした。
- ② **令和3年5月に最も濃度が高かったNo8の井戸の運用を止める判断をしたのは誰か、市の決裁はあるのか**  
▶水道部内の協議で停止したため、決裁はとってません。
- ③ **PFASの目標値を超過している水道水は国内で各務原市だけか**  
▶答弁. 目標値を超過している水道水は国内で本市だけです。

**浅野市長は令和4年4月に報告を  
受けたにも関わらず直ぐに市民に公表せず！**

- ④ **浅野市長は令和4年4月に濃度超過がわかっていたのに公表しなかったのはなぜか**  
▶答弁. 十分な対応策がないままに事実を公表するとかえって市民の不安を煽る恐れがあり、対応策の目途が立った時に市民に公表することが適当と判断した。決して事実を隠そうとは微塵も考えていない。しかし今思えば、事実を把握した時点で公表すべきであったと反省している。
- ⑤ **浄水器、ミネラルウォーターの購入補助、水道基本料金の免除する考えは**  
▶答弁. 水道水を飲み続けたとしても直ちに健康に悪影響を生じさせることは断定できません。不安、心配な市民の皆様は自分で浄水器等を利用するのをお願いをしています。現在、三井水源地内で活性炭による浄化システムの工事を進めていますので、浄水器購入の補助、水道基本料金の免除などを行う予定はありません。
- ⑥ **該当する地域で住民説明会を実施すべきではないか**  
▶答弁. 8月15日号の広報紙と一緒に「各務原市の対応について」を配布しました。さらに電話やメールでの問合せも丁寧に回答していますので、住民説明会を実施する予定はありません。

**PFASの健康への影響は**

PFAS 研究の第一人者である京都大学 原田浩二准教授は、「健康リスクには、血液中のコレステロールが上がってしまう脂質異常症や腎臓がん、生まれてくる子どもの体重が低くなるなどの乳児・胎児の成長発達の影響が指摘されています。血液中のPFAS濃度が高い人たちで健康リスクが高くなります。」と血液検査などより慎重に対処すべきと警鐘を鳴らしています。

希望者に無料で血液検査をしてPFAS濃度の調査をすべきではないかと市に訴えましたが、「現時点ではどの程度の血中濃度でどのような健康被害が生じるか明らかになっておらず、健康影響を評価するための血中濃度に関する基準を定めることができないので、血液検査は実施しません」と答弁しています。

【新総合体育館建設は中止すべき】

今後は水道浄化施設建設10億円や学校体育館にエアコン設置13億円など優先すべき事業があり、新総合体育館建設(120億円)は中止すべきではないかと質問しました。

▶浅野市長答弁. 多くの皆様から熱く強いご要望を受けてきた事業であり、着実に推進していく重要な事業と考えています。



**浅野市長に対する問責決議を提出**

【提案理由】

PFAS 検出以後2年9か月にわたって市民へ公表しないまま、岐阜県の指導により令和5年7月28日に初めて市民に公表し、いまだに汚染水道水を供給し続けていることに、市民は不信感を募らせている。市民の信頼を裏切ったことは明白である。よって本議会は、浅野健司市長に対する問責を決議する。

【問責決議に賛成】

「3年近くも黙っていた市長は許せない。信じていたのに裏切られた、直ぐに市長を辞めてほしい」という市民の怒りの声が聞こえてきます。このように市長に対して、強い批判があるにも関わらず、7月28日の記者会見に市長が同席しなかったこと、住民説明会を行わないこと、市民への説明責任や謝罪の言葉、自身の責任の取り方などを見ても、真に反省しているのかと疑問になってしまいます。謝罪において「説明責任を果たす、職務を全うすることで責任を取る」と発言していますが、9月議会の常任委員会でも水道水の問題について議論されましたが、4つの常任委員会全てに欠席しました。

こういった姿では謝罪の言葉を受け入れるわけにはいきません。浅野市長には猛省を促し、今回の問責決議に賛成します。

**川瀬勝秀議長の「水道水は安全です」「非公表はやむを得ない」発言**

9月15日の三井水源地の視察でマスコミから取材を受けた際に川瀬議長は誤解を招く発言をしました。水道水を飲料水としても安心かと聞かれ、「そうです」と答えたり、公表が遅れたことに対しても「前例がなかったことでやむを得ない」と発言しました。私も強く抗議した結果、議会最終日に「多くの市民に不信感を与えて申しわけない」と謝罪しました。

朝、挨拶活動しています



LINE登録  
お願いします

